

企画展

お か わ ち じょう たたか が も う う じ さ と
大河内城の戦いと蒲生氏郷
～織田軍の南勢侵攻～



令和8年

9月19日(土)～12月6日(日)

背景：大河内城跡遠景

太平記英勇伝蒲生宰相氏郷（個人蔵）



松阪市立歴史民俗資料館

(2階 小津安二郎松阪記念館)

三重県松阪市殿町1539番地(松坂城跡内) TEL&FAX 0598-23-2381



入館料

一般/150円・6歳以上18歳以下/70円

開館時間

9:00～16:30(10月からは16:00まで)

休館日

月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日

アクセス

電車：近鉄/JR 松阪駅下車徒歩約15分

お車：松阪ICから約10分

市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※ 監の編模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。

大河内城の戦いは、戦国時代の永禄十二年（一五六九）に伊勢国大河内（松阪市大河内町）にあった大河内城において尾張国の戦国大名・織田信長と伊勢国司北畠具教・具房親子との間で行われた合戦です。壮絶な合戦の後に和睦となりましたが、この和睦の条件は、

- ・信長の次男である茶筌丸（織田信雄）を北畠家の養嗣子とすること
- ・大河内城を茶筌丸に明け渡し、具教・具房は他の城へ退去すること

また、この合戦は蒲生氏郷が父賢秀とともに初陣を果たした戦いとしても知られ、この初陣で武功を立てた氏郷は、信長の娘と婚姻し身柄を解放され、日野へ戻ることとなりました。

蒲生氏郷生誕四七〇年、大河内城廃城四五〇年を迎えた本年、「信長公記」、「蒲生軍記」、「勢州軍記」等を手がかりとして大河内城の戦いについて紹介するとともに、織田信雄の朱印状や書状をもとにその後の信雄の活躍、さらには、信楽院（滋賀県蒲生郡日野町）の所蔵品を通じて若き日の蒲生氏郷について紐解いていきます。



「蒲生軍記」



「勢州軍記」（個人蔵）



織田信意（信雄）書状（延命寺蔵）



蒲生氏郷初陣着用具足（信楽院蔵）

ミュージアムトーク「日野の蒲生家と氏郷公」

日 時：令和8年10月12日（月祝） 14:00～14:45

場 所：松阪市立歴史民俗資料館 1階

講 師：伊藤 学史さん（日野信楽院住職）

定 員：20名（申込不要）

聴講料：無料（入館料必要）



大河内城址碑

背景：大河内城図（本居宣長記念館蔵）



松阪市立歴史民俗資料館
（2階 小津安二郎松阪記念館）

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539
TEL&FAX 0598-23-2381